

事業所名

Ohanakidsナーサリー

支援プログラム

作成日

6年

3月

25日

法人（事業所）理念	どんなに重い難病や障害があっても、子ども達の可能性を信じ、未来の選択しを増やすこと ご家族の新しいカタチの家族として寄り添い、伴走者として子育て支援をおこなうこと						
支援方針	①他種職の専門性をしるともみ、スタッフ間での情報の共有ができるように、お互いに分かりやすい言葉でつたえあうことやミーティングの実施方法などの改善に取り組む ②家族支援という観点で、適宜適切な送迎時の声かけ等を行うおうに取り組む ③個々の成長を見守り今日は楽しかったな。と思ってもらえるような楽しい時間を一緒に過ごす						
営業時間	10時	0分	から	16時	0分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	子どもが愛情を感じられる安全な環境で過ごし情緒が安定すること、心と身体を十分に動かすことや生活リズムを知る身の回りの事を知り出来る事は行っていく					
	運動・感覚	スキンシップ体操を行いながら幼少期より体に触れられることになれ、自分の体を知り特性に応じた遊び（ストレッチ・バランスボール・平均台・ブランコ・すべり台）など室内や戸外でも運動を行い、色々な動かし方の経験を積み色々な動き方や物の感覚に違いを知れる支援をします。					
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用して必要な情報を収集しやすいよう、絵カードや文字カード、色や音、道具を用いて認知機能の発達を促す支援を行う。集団活動やグループ活動の中で、活動内容を理解しやすいよう、絵カードやルール表を用いて「見える化」するなどの環境から、必要なメッセージをお子様自ら選択し、行動に繋がられるよう一連の認知過程の発達を支援する。物の機能や属性、形、色、音が変化の様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援します。					
	言語 コミュニケーション	日々の遊びや活動の中でコミュニケーション方法を伝えていく（絵本・手遊び歌・マカトン・手話・絵カード）などを用いてコミュニケーション方法を遊びの中や活動の中でのお友だちとの触れ合い選択肢を広げていきます					
	人間関係 社会性	スタッフとの愛着形成から始まり受容的な関わりのもと、安心して過ごせる場所、関係構築を遊びを通して行い、そこからお友だちとの関わり方の経験を積んでいきます。工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。自分で考え、自分で行動する。自分でできることは自分です。いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ。友だちのよさに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。友だちとの関わりを深め、思いやりをもつ。地域の人々などの自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。よいことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動する。共同の遊具や用具を大切に、みんなで使う。					
家族支援	育児軽減時間レスパイト 兄弟児枠での同時利用時間確保 祝日営業する事での兄弟児レスパイト	移行支援		姉妹事業所との連携（児発から放デイサービスへの）情報共有 保育園との連携（情報共有や専門的支援指導）交流			
地域支援・地域連携	保育園・幼稚園・学校への訪問や見学・交流 地域でのイベント参加	職員の質の向上		防災・不審者対策研修 内部・外部研修実施 他児業所への見学と交流			
主な行事等	卒園式・進級式・入園お祝い会・プールびらき・夏祭り・すいか割り大会・運動会・いも掘・クリスマス会						